

2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年5月10日

上場会社名 KeePer 技研株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6036 URL <http://www.keepercoating.jp/corp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 賀来 聡介
 問合せ先責任者 (役職名) 最高財務責任者 CFO (氏名) 山下 文子 (TEL) 0562-45-5258
 四半期報告書提出予定日 2023年5月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第3四半期の業績 (2022年7月1日~2023年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	12,362	18.6	4,035	30.4	4,052	30.7	2,774	30.2
2022年6月期第3四半期	10,420	20.2	3,094	33.9	3,101	34.0	2,131	37.1
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年6月期第3四半期	101.72		—					
2022年6月期第3四半期	78.14		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	13,422	9,968	74.3
2022年6月期	11,858	8,039	67.8

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 9,968百万円 2022年6月期 8,039百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	31.00	31.00
2023年6月期	—	0.00	—		
2023年6月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の業績予想 (2022年7月1日~2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,237	20.1	5,463	26.3	5,463	26.3	3,805	23.0	139.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年6月期3Q	28,280,840株	2022年6月期	28,280,840株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年6月期3Q	1,000,662株	2022年6月期	1,000,516株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年6月期3Q	27,280,267株	2022年6月期3Q	27,280,417株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において、当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予測数値より大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）P5「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期貸借対照表	7
(2) 四半期損益計算書	9
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2022年7月1日から2023年3月31日)における我が国の経済は、資源高の影響などによるコスト上昇が継続するなか、個人消費や設備投資の拡大が持続するなど総じて緩やかな回復基調を辿っているものの、続く円安や長引くウクライナ情勢など、景気の先行きは依然として不透明な状態が続いております。

このような環境の中、当社ではユーザーに提供されるKeePerコーティングの品質の維持・向上を従来以上に実現していくことが、当面の業績を向上させるだけでなく、将来に向けての発展を目指したKeePerブランドのブランディングを確実にしていくために最も重要であると考えています。

当第3四半期累計期間(2022年7月1日から2023年3月31日)におきましては、売上高は123億62百万円(前年同期比18.6%増加)、営業利益は40億35百万円(同30.4%増加)、経常利益は40億52百万円(同30.7%増加)と増収増益となりました。なお、第3四半期累計期間としては、過去最高益となります。

また、第3四半期会計期間(2023年1月1日から2023年3月31日)では、売上高は37億95百万円(前年同期比21.7%増加)、営業利益は10億19百万円(同31.1%増加)、経常利益は10億9百万円(同31.0%増加)となっております。

キーパーLABO運営事業

これまで半導体不足により遅れていた、新車の納車がいよいよ動き出し、新車への施工が大幅に回復しております。2023年1月～3月までのダイヤモンドキーパー以上の高性能コーティング(ダイヤ・Wダイヤ・ECOダイヤ・EXキーパー)の施工台数は、昨年の11,178台に対して、今年は13,322台で2,124台の増加です。また、新車への施工台数は6,758台であり、高性能コーティング施工の半分以上が新車への施工となりました。

各キーパーコーティングの施工台数状況を見てみると、新車用のEXキーパーの施工台数は3,132台で、前年比29.0%増加、売上で約4億78百万円と大幅な実績の上乗せとなりました。ダイヤモンドキーパーシリーズの施工台数は10,190台で、前年比16.8%増加、売上で7億54百万円と堅調に伸びています。クリスタルキーパーは、同じ耐久期間のタイプであるフレッシュキーパーと合わせて施工台数は15,329台で、前年比21.0%増加、メンテナンス類においては30.7%増加となり、「今乗っている車を長くキレイに乗りたい」需要の高さから、商品カテゴリーの中で一番の伸び率となりました。

また、今年は2月から「黄砂汚れ」、加えて3月からは「花粉汚れ」が酷く、洗車需要が大幅に増しました。そして、「花粉でついたシミを取りたい」「キーパーをして、汚れを付かなくしたい」などのご要望も増えました。総来店台数は12.6%増加、コーティングの平均単価も向上したため、全体での平均単価は15,302円/台の10.6%増となりました。

運営面では、店長など特定の技術者がお客様の注文を聞き、作業を割り振る運営から、お客様の話を聞いた技術者が施工し、施工した技術者がお引き渡しをする運営方法に変更しました。技術者一人一人の責任感が向上したことで、安定した品質に繋がりました。また、技術者もお客様から直接ご要望をお聞きする事が出来るため、技術者がお客様のためにキレイにしたいという想いもさらに強くなり、やりがいにも繋がっております。しかし、同時に受注をする場面も多くなり、受注カウンターが足りなくなるなど課題も出てきましたので、1店舗1店舗改善をしています。

兼ねてから課題であったWeb予約の改善も行いました。今までは店舗の空き状況をお知らせする画面で、「△ お問い合わせください」と表記しておりましたが、お問い合わせいただいたにも関わらずお断りしてしまうケースが多くなりました。その為、表記を「△ 混雑」とし、お問い合わせいただかなくても分かるように変更致しました。小さな事ですが、お客様に不快感を与えてしまっていた事は間違いなく、それが改善できたのは収穫でした。

さらに今後は、予約の空き状況から予約を入れられるようにする機能や初めて店舗を利用される方に向けた予約画面の設定など、よりお客様の利便性を高めるための進化を加えていきます。

今後の新店開発の予定

今期の新規出店は、店舗工事において部材の高騰や長期納期により、若干の遅れが出ておりましたが、予定通り12店舗の出店予定です。今後の店舗展開の拡大に向け、店舗部の再構築をしたことで有望な新店候補地も出てきており、今後の店舗拡大に向け大きな手応えを掴んでおります。

新店オープン

店舗名	所在地	オープン日
新座店	埼玉県新座市	2022年11月2日
小倉南店	福岡県北九州市	2022年11月26日
四日市南店	三重県四日市市	2023年3月30日

移転オープン

店舗名	所在地	オープン日
八王子店	東京都八王子市	2022年9月26日

2023年6月期中にオープン予定

店舗名	所在地	オープン予定月
有明店	東京都江東区	2023年5月
松山インター店（仮称）	愛媛県松山市	2023年5月
武蔵村山店（仮称）	東京都武蔵村山市	2023年6月
各務原店（仮称）	岐阜県各務原市	2023年6月
秋田店（仮称）	秋田県秋田市	2023年6月
大宮東店（仮称）	埼玉県さいたま市	2023年6月
伊勢崎店（仮称）	群馬県伊勢崎市	2023年6月
福生店（仮称）	東京都福生市	2023年6月
用賀店（仮称）	東京都世田谷区	2023年6月

2024年6月期以降にオープン予定

店舗名	所在地	オープン予定月
府中店（仮称）	東京都府中市	2023年8月
大阪平野店（仮称）	大阪府大阪市	2023年8月
越谷店（仮称）	埼玉県越谷市	2023年8月
西春店（仮称）	愛知県北名古屋市	2023年8月
宇都宮店（仮称）	栃木県宇都宮市	2023年9月
上尾店（仮称）	埼玉県上尾市	2023年9月
福岡早良店（仮称）	福岡県福岡市	2023年9月

既存店の改装とブランディング変更

需要拡大に対応し、ブース増設やゲストルーム配置換えなどを行っております。また、作業効率を向上させるため、全店にてお客様の車の移動が不要な仕様への改装工事も、急ピッチにて進めております。

店舗名	所在地	ブース数の増設	洗って仕上げる作業場への改修	洗って仕上げる作業場を増設	その他改修
佐倉店	千葉県	2→4台			
甚目寺店	愛知県	3→5台	4台分		
春日井店	愛知県	3→8台	3台分		
安城店	愛知県		4台分		
豊橋店	愛知県	3→6台			
蕨店	埼玉県	3→6台		2台分	
宝塚店	兵庫県	3→7台	4台分		
相模原淵野辺店	神奈川県	3→6台	3台分		
大須店	愛知県				待合室の配置・設備改修
鶴見店	大阪府	3→8台	3台分		
仙台東町店	宮城県	2→6台	3台分		

Q3（1-3月）実績

店舗名	所在地	ブース数の増設	洗って仕上げる作業場への改修	洗って仕上げる作業場を増設	その他改修
津店	三重県	5→7台	4台分		
トレッサ横浜店	神奈川県	4→8台			

今後の予定

店舗名	所在地	ブース数の増設	洗って仕上げる作業場への改修	洗って仕上げる作業場を増設	その他改修
大宮店	埼玉県	4→6台		3台分	
東郷店	愛知県	4→7台	3台分		
福井大和田店	福井県	4→9台	4台分		
松阪店	三重県	2→9台	2台分		
市原店	千葉県	3→6台			

Q3（1-3月）追加された改装案件

店舗名	所在地	ブース数の増設	洗って仕上げる作業場への改修	洗って仕上げる作業場を増設	その他改修
厚木店	神奈川県	4台		3台分	
八王子店	東京都	4台		2台分	
浦和美園店	埼玉県	2台	3台分		
鳴海店	愛知県	4台	4台分		
福山店	広島県	3台	4台分		

その結果、キーパーLABO運営事業の売上高は70億22百万円（前年同期比23.5%増加）、セグメント利益は19億16百万円（同23.1%増加）となりました。

キーパー製品等関連事業

当事業において最も大きなシェアを占める石油販売業界は、外出制限がなくなったことにより、車での外出が増え、お客様のご来店が大きく回復しております。

また、春特有の汚れである「黄砂」「花粉」などが例年以上に大量飛散し、車を著しく汚しています。塗装に良くない成分も入っているため、汚れを早く落としたいお客様による洗車と、コーティング需要が高く、忙しい日々が続いています。

そして、昨年10月に発売された新サービス「フレッシュキーパー」が、「洗車の回数が減る便利な実用品」として大好評をいただいております。販売・施工台数が大幅に伸びてきています。その為、キーパープロショップをはじめとするキーパー施工店に、KeePerの新コンセプトである「勝手にキレイになる」のチラシ、約100万枚を無料配布しました。その効果もあり、店頭にて積極的な声掛けが開始され「フレッシュキーパー」が、1月～3月だけでも約7万台分台の施工に繋がっております。

そして、4月からは全国ネットである「ZIP!」、「家事ヤロウ!!!」、「マツコの知らない世界」の3番組でCM放映が始まりました。加えて、フレッシュキーパーの専用 Web ページも立ち上がり、SNS を活用した本格的なプロモーションがスタートしています。このプロモーションは早速効果が現れており、今後はさらに全国のキーパープロショップなどのキーパー施工店に「勝手にキレイになる」KeePerを求め、多くのお客様のご来店が期待出来そうです。

また、4月7日より、全国のキーパー施工者の技術力向上を目的とした『第8回 2023年 キーパー技術コンテスト』がスタートをしています。過去最多の出場選手数が見込まれており、KeePerの需要増、期待感をヒシヒシと感じている全国のキーパー技術者の熱戦が繰り広げられます。

新車マーケットについては、コロナの終息と共に、着実に国内向けの製造が上向き傾向となり、期末である3月末に向け新車ディーラーは納車ラッシュが続き活況を取り戻しております。特に、納車が長期化していたトヨタ販売会社においては一斉に納車が始まり、トヨタ販売会社向けに発売を開始した『KeePerボディーコート』の新車施工が本格的に始まっております。

また、トヨタ新車販売店内にキーパーラボ店舗を作り、協業を開始しております。まず3月30日に、ネットトヨタ三重(株)が運営する四日市南店の同一敷地内に、「キーパーラボ四日市南店」がオープンしました。さらに5月13日に、トヨタモビリティ東京(株)が運営するトヨタとレクサス併設店舗「有明店」「レクサス有明店」内に、「キーパーラボ有明店」がショップインショップとして同時オープンします。トヨタ販売店以外にも、販売店舗内でKeePerを導入し新車施工だけではなく、定期的なコーティングメンテナンスを積極的に自社に取り入れる企業が増加する手応えを感じております。

そして、2023年3月31日より、株式会社ホンダアクセスでKeePerコーティングが純正品として取扱いが始まっております。営業活動は発売開始前の1月末より始まっており、順調に進んでおります。ホンダとキーパーのダブルネームという事もあり、約8割のホンダ販売会社が導入意志を示しており、1社1社ごとに商品説明と技術研修を実施しております。既に商品の納入も始まっている販売店も数多く、ホンダボディーコート市場の拡大に大きな手応えを感じております。

スバル純正の『SUBARU WダイヤモンドKeePer』は、発売から2年以上経ったこともあり、スバル新型車を使った新パンフレットの作成や、SUBARU の営業スタッフに向けた KeePer 商品説明を再度強化し、コーティング付帯率の向上を目指しております。

3社以外の新車販売店においても、直接取引実績が拡大してきており、引き続き全方位の新車メーカーに対して純正採用活動を進めてまいります。

さらに、車以外のサービスとして、スマートフォン用コーティングも高性能との評価で、家電量販店への納入が始まっております。また、「お風呂」「シンク」などの水回り用のコンシューマー向け商品の開発が始まっており、今後はこの領域においてもKeePerの拡大に期待が出来そうです。

その結果、キーパー製品等関連事業の売上高は53億39百万円(前年同期比12.8%増加)、セグメント利益は21億19百万円(同37.8%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ15億64百万円増加し、134億22百万円となりました。これは主として、現金及び預金が91百万円増加、売掛金が1億29百万円増加、有形固定資産が4億50百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ3億65百万円減少し、34億53百万円となりました。これは主として、買掛金が93百万円増加、借入金が2億84百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ19億29百万円増加し、99億68百万円となりました。これは主として利益剰余金が四半期純利益により27億74百万円増加した一方で、配当により8億45百万円減少したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の業績予想につきましては、2022年8月10日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,721,463	2,812,942
受取手形	168,918	154,339
売掛金	1,157,351	1,373,877
商品	706,006	1,153,488
貯蔵品	68,489	80,422
前払費用	189,880	218,160
その他	17,324	179,555
貸倒引当金	△265	△162
流動資産合計	5,029,168	5,972,623
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,127,116	3,481,972
構築物（純額）	201,894	216,646
機械及び装置（純額）	66,082	47,587
車両運搬具（純額）	22,292	34,515
工具、器具及び備品（純額）	130,607	168,171
土地	2,016,836	2,016,836
建設仮勘定	63,609	113,633
有形固定資産合計	5,628,439	6,079,362
無形固定資産		
ソフトウェア	46,495	69,371
その他	61,048	50,290
無形固定資産合計	107,543	119,662
投資その他の資産		
投資有価証券	19,388	20,027
関係会社株式	1,000	1,000
長期前払費用	36,733	45,669
敷金及び保証金	364,218	481,335
建設協力金	291,760	282,907
保険積立金	11,460	11,460
繰延税金資産	368,995	408,690
その他	23	10
貸倒引当金	△13	-
投資その他の資産合計	1,093,566	1,251,101
固定資産合計	6,829,550	7,450,126
資産合計	11,858,718	13,422,750

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	359,263	453,171
1年内返済予定の長期借入金	379,936	119,437
未払金	422,871	398,870
未払法人税等	923,770	694,893
未払費用	312,764	224,172
賞与引当金	47,169	190,413
契約負債	163,526	239,145
その他	155,884	47,780
流動負債合計	2,765,187	2,367,884
固定負債		
長期借入金	160,000	136,000
退職給付引当金	370,913	411,141
役員退職慰労引当金	256,683	267,255
資産除去債務	262,025	267,519
その他	4,043	4,043
固定負債合計	1,053,665	1,085,959
負債合計	3,818,853	3,453,844
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,347,557	1,347,557
資本剰余金	1,007,224	1,007,224
利益剰余金	7,871,812	9,801,040
自己株式	△2,188,728	△2,189,172
株主資本合計	8,037,865	9,966,650
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,999	2,255
評価・換算差額等合計	1,999	2,255
純資産合計	8,039,865	9,968,905
負債純資産合計	11,858,718	13,422,750

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年7月1日 至2022年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年7月1日 至2023年3月31日)
売上高	10,420,071	12,362,362
売上原価	1,951,466	2,246,834
売上総利益	8,468,605	10,115,528
販売費及び一般管理費	5,374,404	6,079,715
営業利益	3,094,200	4,035,812
営業外収益		
受取利息	1,035	1,175
受取配当金	209	180
為替差益	-	11,971
受取手数料	5,140	3,780
その他	4,072	1,318
営業外収益合計	10,457	18,426
営業外費用		
支払利息	2,921	1,185
為替差損	351	-
その他	43	293
営業外費用合計	3,316	1,478
経常利益	3,101,341	4,052,759
特別利益		
固定資産売却益	4,676	1,974
特別利益合計	4,676	1,974
特別損失		
固定資産除売却損	2,334	9,176
減損損失	5,137	-
特別損失合計	7,472	9,176
税引前四半期純利益	3,098,545	4,045,557
法人税、住民税及び事業税	1,032,868	1,310,446
法人税等調整額	△65,943	△39,806
法人税等合計	966,925	1,270,639
四半期純利益	2,131,620	2,774,918

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書 計上額
	キーパー製品等 関連事業	キーパーLABO 運営事業	計		
売上高					
札幌営業所	206,867	—	206,867	—	206,867
仙台営業所	514,635	—	514,635	—	514,635
東京営業所	933,581	—	933,581	—	933,581
横浜営業所	428,035	—	428,035	—	428,035
名古屋営業所	1,004,037	—	1,004,037	—	1,004,037
大阪営業所	525,354	—	525,354	—	525,354
広島営業所	492,607	—	492,607	—	492,607
福岡営業所	629,703	—	629,703	—	629,703
東日本	—	2,940,102	2,940,102	—	2,940,102
西日本	—	2,745,145	2,745,145	—	2,745,145
顧客との契約から生 じる収益	4,734,822	5,685,248	10,420,071	—	10,420,071
外部顧客への売上高	4,734,822	5,685,248	10,420,071	—	10,420,071
セグメント間の内部 売上高又は振替高	592,986	—	592,986	△592,986	—
計	5,327,808	5,685,248	11,013,057	△592,986	10,420,071
セグメント利益	1,538,042	1,556,157	3,094,200	—	3,094,200

(注) セグメント間の内部売上高592,986千円は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業に対するものです。

当第3四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書 計上額
	キーパー製品等 関連事業	キーパーLABO 運営事業	計		
売上高					
札幌営業所	235,392	—	235,392	—	235,392
仙台営業所	553,311	—	553,311	—	553,311
東京営業所	1,087,478	—	1,087,478	—	1,087,478
横浜営業所	487,350	—	487,350	—	487,350
名古屋営業所	1,151,004	—	1,151,004	—	1,151,004
大阪営業所	624,879	—	624,879	—	624,879
広島営業所	513,093	—	513,093	—	513,093
福岡営業所	686,994	—	686,994	—	686,994
東日本	—	3,578,880	3,578,880	—	3,578,880
西日本	—	3,443,978	3,443,978	—	3,443,978
顧客との契約から生 じる収益	5,339,504	7,022,858	12,362,362	—	12,362,362
外部顧客への売上高	5,339,504	7,022,858	12,362,362	—	12,362,362
セグメント間の内部 売上高又は振替高	924,210	—	924,210	△924,210	—
計	6,263,714	7,022,858	13,286,573	△924,210	12,362,362
セグメント利益	2,119,732	1,916,079	4,035,812	—	4,035,812

(注) セグメント間の内部売上高924,210千円は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業に対するものです。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。